

平成 16 年度 パトロール統計



はじめに

特定非営利活動法人日本ライフセービング協会(以下 JLA)のレスキュー委員会では、パトロールログおよびレポート(レスキュー、ファーストエイド、レサシテーション)の集計および、海水浴場調査を行いました。これは、JLA プロジェクト 2004 に掲げられた、レスキューの減少、パトロールシステムの構築、社会復帰率の向上に寄与する情報を集約し、現場のライフセーバーはもとより、社会へ貢献しうするためです。





1. 概要

パトロール中に発生したアクシデント数については、JLAの有資格ライフセーバーたちが活動した全国177ヶ所の海水浴場の中、125ヶ所の海水浴場からの集計結果をまとめたものである(2004年11月12日迄報告分)。

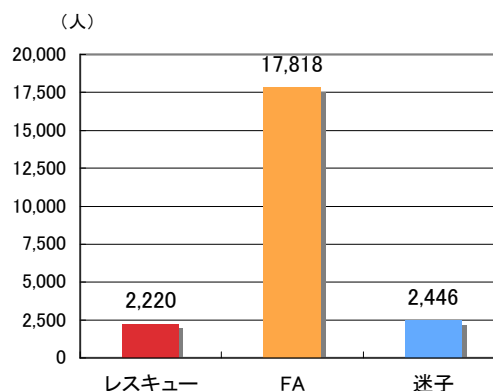
内容別にアクシデント数をみてみると、レスキューされた人は2,220人、ファーストエイドを受けた人は17,818人、迷子になった人は2,446人であった。レスキューを重症度別にみてみると、重溺が0.5%(11人)、軽溺が9.4%(209人)、安全移送が90.1%(2,000人)となっていた。

重溺の内訳は、蘇生54.5%(6人)、死亡36.4%(4人)、不明9.1%(1人)であった。また、回答率が低かったのであくまで参考にとどめたいが、JLAの関係した全国の夏季海水浴期間中の総入り込み数は、7,427,425人であった。1海水浴場の夏季入り込み数の平均は59,419人、最も多かった海水浴場は1,375,495人、一方最も少なかった海水浴場は326人であった。

1-1. パトロール中のアクシデント数(人)

レスキュー	FA	迷子
2,220	17,818	2,446

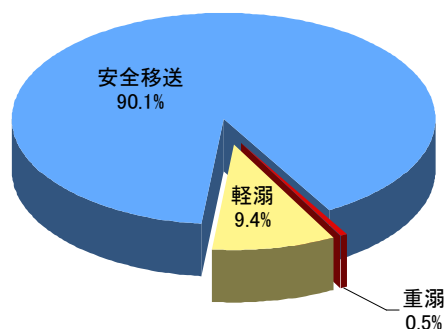
※全国125カ所より



1-2. 重症度別レスキュー数(人)

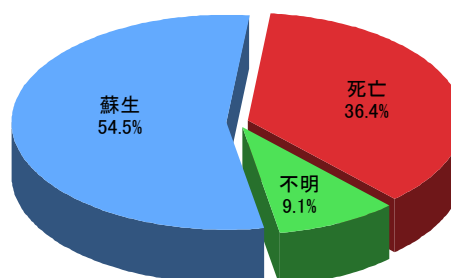
レスキュー総数	重溺	軽溺	安全移送
2,220	11	209	2,000

※全国125カ所より



1-3. 重溺の内訳(人)

重溺総数	蘇生	死亡	不明
11	6	4	1





2. 海水浴場について

JLAの有資格ライフセーバーたちが活動した全国177ヶ所の海水浴場の中、85ヶ所の海水浴場からの集計結果をまとめたものである(2004年11月12日迄報告分)。また、データを集計するにあたり、表には、個数、平均値はもとより、最頻値(Mode)[※]も採用した。さらに最小値-最大値、普及率(レスキュー器材のみ)なども記載するので参考にさせていただきたい。

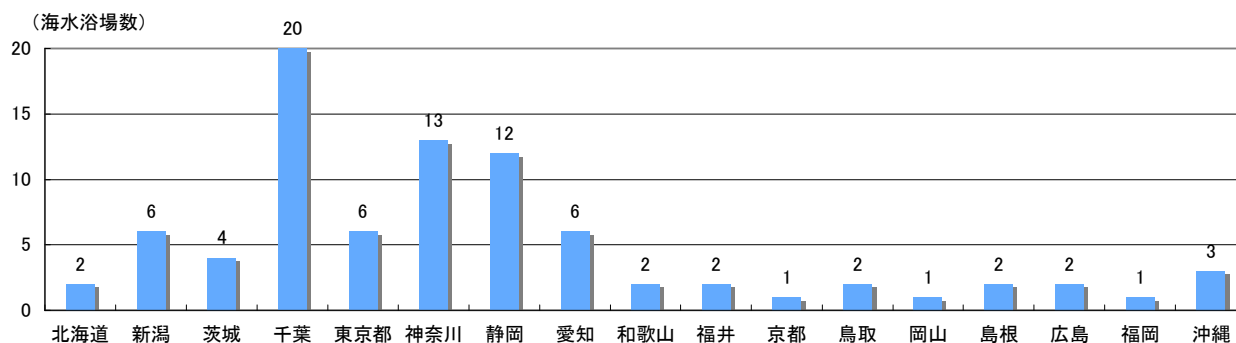
※最頻値(Mode)：最も頻度の高いカテゴリー・階級・観測値・階級値のことを指す。

2-1. 都道府県別海水浴場数

今回データを提出した85カ所の海水浴場を100%とすると、その内訳は東日本で74.1%、西日本で25.9%となっていた。関東地域の全国に占める割合は高く、50.6%となっていた。

2-1. 都道府県別海水浴場数(データを提出した85カ所の浜)

	北海道	新潟	茨城	千葉	東京都	神奈川	静岡	愛知	和歌山	福井	京都	鳥取	岡山	島根	広島	福岡	沖縄	計
度数	2	6	4	20	6	13	12	6	2	2	1	2	1	2	2	1	3	85
%	2.4	7.1	4.7	23.5	7.1	15.3	14.1	7.1	2.4	2.4	1.2	2.4	1.2	2.4	2.4	1.2	3.5	100

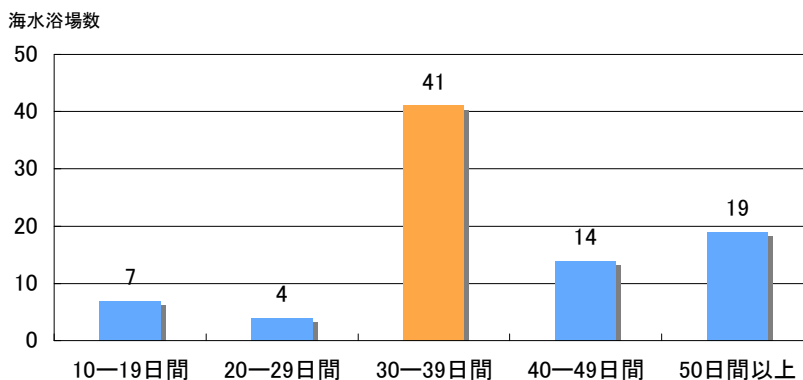


2-2. 海水浴場開設日数

2-2. 海水浴場開設日数

	10-19日間	20-29日間	30-39日間	40-49日間	50日間以上	計
度数	7	4	41	14	19	85
%	8.2	4.7	48.2	16.5	22.4	100

平均:38.7日間 Mode:37日間 Min:12日間 Max:67日間



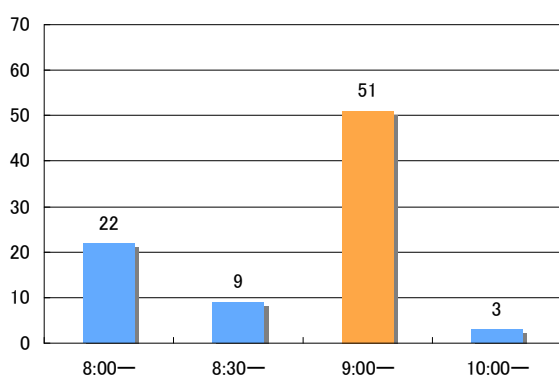
2-3、2-4. パトロール開始・終了時刻

パトロール開始時刻は 8 時と 9 時間が多かった。終了時刻は、圧倒的に 17 時が多かった。少数ではあるが、地域によっては日没近くまでパトロールを行っているところがあった。

2-3. パトロール開始時間(海水浴場数)

	8:00—	8:30—	9:00—	10:00—	計
度数	22	9	51	3	85
%	25.9	10.6	60.0	3.5	100

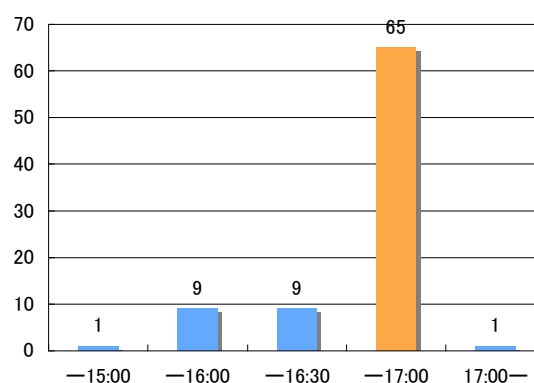
海水浴場数



2-4. パトロール終了時間(海水浴場数)

	—15:00	—16:00	—16:30	—17:00	17:00—	計
度数	1	9	9	65	1	85
%	1.2	10.6	10.6	76.5	1.2	100

海水浴場数



2-5. 1日のパトロール総時間

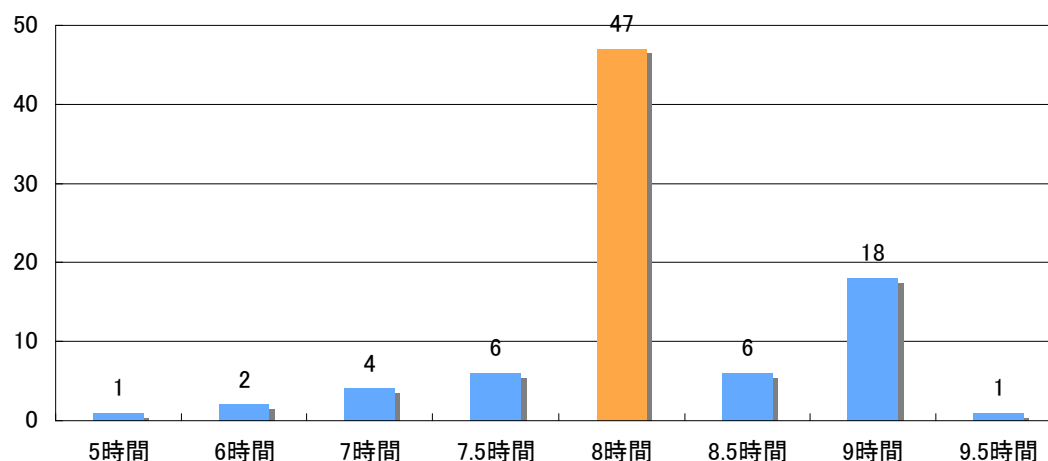
1 日のパトロール総時間は 8 時間のパターンが 55.3%で最も多かった。ただし、地域によって約 4 時間の差があった。

2-5. 1日のパトロール総時間(海水浴場数)

	5時間	6時間	7時間	7.5時間	8時間	8.5時間	9時間	9.5時間	計
度数	1	2	4	6	47	6	18	1	85
%	1.2	2.4	4.7	7.1	55.3	7.1	21.2	1.2	100

平均:8.1時間 Mode:8時間 Min:5時間 Max:9.5時間

海水浴場数

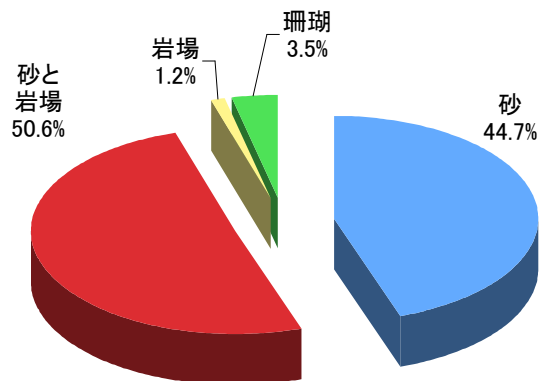


2-6.海水浴場のタイプ

海水浴場のタイプは砂と岩場で構成されているところが50.6%と最も多く、ついで、砂が44.7%、珊瑚が3.5%となっていた。

2-6. 海水浴場のタイプ

	砂	砂と岩場	岩場	珊瑚	計
度数	38	43	1	3	85
%	44.7	50.6	1.2	3.5	100



2-7、2-8. ライフセーバーの配置人数

平日と休日と比較すると休日は平均配置人数が2.5人増していた。全体的なライフセーバーの配置数においては、2つの山がみられ、3人前後と10人前後の配置人数が多かった。また平日はパトロールをせず休日のみ行うというケースが8ヶ所(9.4%)あった。

2-7. ライフセーバー配置人数(平日)

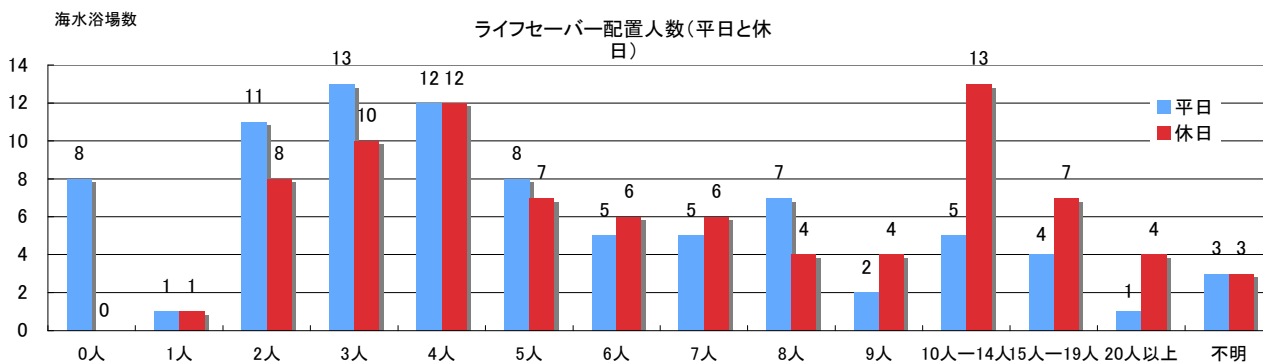
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	不明	計
度数	8	1	11	13	12	8	5	5	7	2	10	3	85
%	9.4	1.2	12.9	15.3	14.1	9.4	5.9	5.9	8.2	2.4	11.8	3.5	100

平均:5.2人 Mode:3人 Min:0人 Max:21人

2-8. ライフセーバー配置人数(休日)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人-14人	15人-19人	20人以上	不明	計
度数	1	8	10	12	7	6	6	4	4	13	7	4	3	85
%	1.2	9.4	11.8	14.1	8.2	7.1	7.1	4.7	4.7	15.3	8.2	4.7	3.5	100

平均:7.7人 Mode:4人 Min:1人 Max:29人



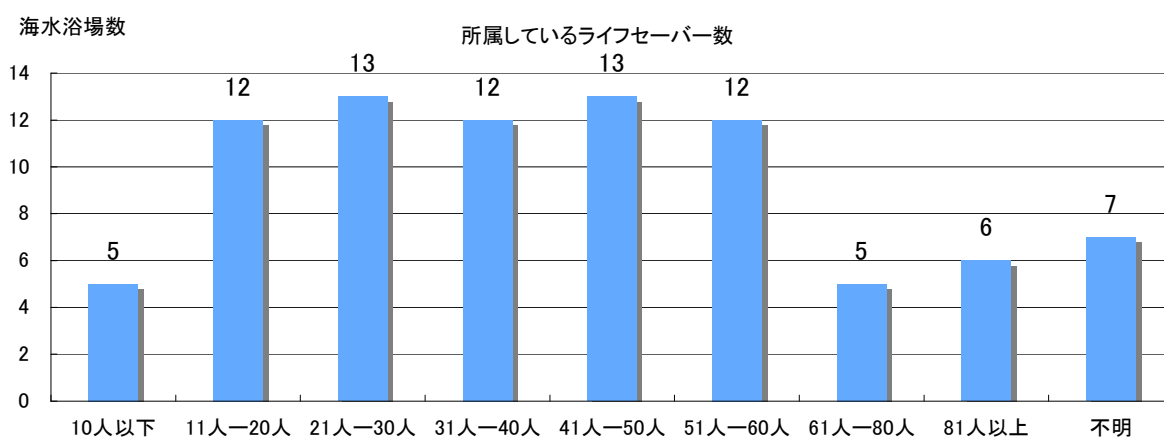
2-9. 所属しているライフセーバー数

海水浴場に所属しているライフセーバーの人数について、最も少ない海水浴場は7人、最も多い海水浴場は92人とかなり幅があった。

2-9. 所属しているライフセーバー数

	10人以下	11-20人	21-30人	31-40人	41-50人	51-60人	61-80人	81人以上	不明	計
度数	5	12	13	12	13	12	5	6	7	85
%	5.9	14.1	15.3	14.1	15.3	14.1	5.9	7.1	8.2	100

平均:42.1人 Mode:50人 Min:7人 Max:92人



2-10、2-11. 監視塔数と監視本部数

監視塔は1基だけのところが約半数を占める。また監視塔なしでパトロールを実施する海水浴場も5ヶ所(5.9%)あった。

監視本部数は1基が83.5%とほとんどを占め、本部を活用している海水浴場は88.2%であった。しかしながら監視本部がない海水浴場も10ヶ所(11.8%)とあった。

2-10. 監視塔数

	0基	1基	2基	3基	4基	5基以上	計
度数	5	43	15	8	9	5	85
%	5.9	50.6	17.6	9.4	10.6	5.9	100

平均:1.9基 Mode:1基 Min:0基 Max:9基 普及率:94.1%

2-11. 監視本部数

	0棟	1棟	2棟	3棟	4棟以上	計
度数	10	71	2	1	1	85
%	11.8	83.5	2.4	1.2	1.2	100

平均:1棟 Mode:1棟 Min:0棟 Max:4棟 普及率:88.2%

